

関口まさかず先生と共に  
自立と誇りある日本をめざします！

**自民党** 政治の安定により力強く政策を進めます！

自由民主党衆議院議員【埼玉 3 区（越谷市・草加市）】

**自然災害への備えと政治～関口参議院議員との連携～**

「パナマ首都圏都市交通 3 号線整備計画」に関する書簡の交換

自立と誇りある国づくりは地域づくりから～地域の皆さんとの意見交換～

※きかわだひとしとは？（きかわだひとしプロフィール）

**きかわだステーション**



**第 45 号**

きかわだひとし FB はこちら！友達募集中！↑↑↑  
衆議院議員黄川田仁志事務所発行 電話 048-933-0591

## 自然災害への備えと政治～関口参議院議員との連携～

衆議院議員の黄川田仁志です。

熊本県や大分県で発生した地震は、私たち日本人にとって、自然災害が身近であることを改めて認識させるものでした。越谷市や草加市も例外ではなく、ゲリラ豪雨や竜巻、首都直下型地震等、今後発生が予想される災害がいくつかあります。

現在、自民党では、東日本大震災から 5 年が経過したことを機に、「発災時の成果の初動に関する検証チーム」を立ち上げ、当時の様々な対応にどのような問題があったか、改善策を含めて検討しております。今回の地震も含め、いつ来るかわからない災害に対し、さらなる備えを進めて参る所存です。

大きな災害を見てみますと、発災時、市役所は、目の前の対応をするだけで精一杯になることが予想されます。県や国は、市役所からの情報のみならず、独自で情報を収集し、地域の復旧作業を強力にサポートしなければなりません。

3 年前に発生した越谷市内の竜巻のことです。私は国会で仕事をしておりましたが、被害状況を確認するため、すぐさま現地に入りました。自分の目で状況を確認し、翌日には、幹事長等、党役員の方々に被害状況を報告し、関係省庁の幹部を全て集め、対策会議を開催していただきました。併せて、官房長官等にも直接被害状況を伝え、災害救助法、並びに、被災者生活再建支援法の適用、さらには、政府による積極的な復旧支援をお願いしました。その際、大きなお力添えをいただいたのが、埼玉県選挙区選出の参議院



**関口まさかず参議院自民党幹事長代行**

昭和 28 年 6 月 4 日生まれ。埼玉県秩父郡皆野町に生まれる。城西歯科大学（現明海大学歯学部）卒業。参議院議員 3 期目。外務大臣政務官、総務副大臣・内閣府副大臣を歴任。現在、自民党地方創生実行統本部長代理も務める。



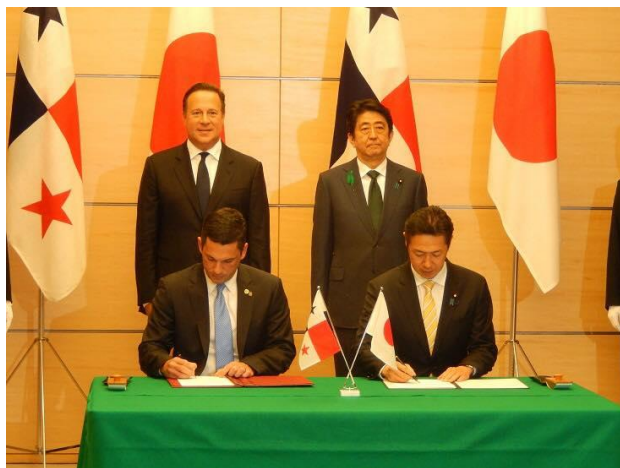
関口先生と地域の安心・安全を語る黄川田仁志

自民党幹事長代行の関口昌一先生です。関口先生は、現場で状況を確認している私に直接電話をくれました。そして、翌日の党本部役員会議で、被害状況の報告等をできるように、手配してくれました。当時、まだ 1 期目の衆議院議員であった私にとって、大変ありがたい支援であり、関口先生のお力によって、国による様々な支援がより一層促進されたと確信しております。

埼玉県に、関口先生のような、地域の現場に細やかな気配り、目配りができる参議院議員がいることは、大きな力です。関口先生には、今後も、越谷市と草加市のために、ご支援いただくべく、日頃から、密に連携をはかって参ります。

平成 28 年 5 月吉日 外務大臣政務官／衆議院議員 黄川田仁志

## 「パナマ首都圏都市交通 3 号線整備計画」に関する書簡の交換



書簡の交換の様子

4月20日に、日・パナマ首脳会談後、安倍総理とバレーラ大統領の立会いの下、日本国政府代表の私とインカピエ外務次官との間で、円借款「パナマ首都圏都市交通 3 号線整備計画」に関する書簡の交換を行いました。大変な大役で、署名する際にとっても緊張しましたが、無事に任を果たすことができました。

パナマでは、経済成長に伴い、首都圏西部の新興開発地域と首都圏中心部をつなぐ道路で、朝夕の交通渋滞が深刻化し、都市機能の麻痺を招いています。そのため、環境に優しいモノレールを導入することとなり、わが国の気候変動分野の途上国支援策の一環としての支援が決定しました。首脳会談では、この他に、国際的な租税回避問題に関して、日・パナマ租税情報交換協定の正式協議を早期に開始することが合意されました。

### シリーズ・自立と誇りある国づくり報告

## 自立と誇りある国づくりは地域づくりから～地域の皆さんとの意見交換～

外務大臣政務官に就任して以来、永田町や霞が関、そして海外まで、仕事をする場所が増え、地域の皆様と直接会う時間が益々大切になってきております。なぜなら、私がめざす「自立」と「誇り」ある国づくりを実現するためには、その基盤となる、地域づくりがとても大切だからです。

よりよい地域づくりを進めるためには、実際に地域に足を運び、皆様から直接お話を伺うことがとても重要となります。

本会議や委員会が開催されることが少ない土日や祝日等を利用して、様々な地域のイベントに参加したり、直接、職場やご自宅を直接訪問したりして、お話を伺っています。

また、政治家が一方的にお話するのではなく、参加者の皆様からのご質問やご意見を受け、意見交換をさせていただく「政治よろず座談会」を各地域で開催しております。4月と5月は、草加市内 10 ヶ所で開催させていただき、生活に根差した身近な問題から、国際問題に至るまで、幅の広い意見交換をさせていただきました。この「政治よろず座談会」につきましては、今後も継続して開催します。次回は越谷市内 13 ヶ所を予定しております。国会議員の集会と言うと、何だか堅苦しく感じる方も多いと思いますが、気軽にお立ち寄りいただければ幸いです。

外務大臣政務官になって特に感じていることは、霞が関の役所からの情報だけで、物事の本質を判断することは難しいということです。官僚の皆さんはとても優秀で、様々な情報を集めて、私に報告してくれますが、それはやはり「役所」という一定の枠の範囲で集められた情報であり、不足する部分があることは否めないと思っています。特に、国内の政策については、各地にいる衆議院議員が、地域の声によく耳を傾け、現場の生の声を政策に加えていく必要があります。さらには、地域でご活躍いただいております、県議会議員や市議会議員の皆様との連携も密にし、広範な地域の声を聞けるよう、これからも努力して参ります。



地域の現場に訪問しての意見交換



各地域で開催している政治よろず座談会



**きかわだひとし**とは？…自民党衆議院議員。2 期目。東京理科大卒、米州大学大学院修了。松下政経塾出身。元環境コンサルタント。昭和 45 年生まれ。趣味は剣道、空手、野球、落語。妻、長女と越谷市内に在住。現在、第 3 次安倍改造内閣にて、外務大臣政務官を務める。主に、北米、中南米、日米同盟、国連に係る分野を担当。